

令和6年度短期大学部（船橋校舎）における教育活動に関する
外部評価の実施について

このたび、日本大学短期大学部（船橋校舎）では、教育活動に関する取り組みについて企業の方に評価していただく外部評価を実施いたしました。

今回実施した外部評価の結果（評価票）につきましては、次ページ「令和6年度短期大学部（船橋校舎）における教育活動に関する外部評価実施要項」の後に「教育・学習」、「学生の受け入れ」の順でございますので御覧ください。

なお、評価結果につきましては、真摯に受け止め、今後改善策等を検討して改善に努めてまいります。

以 上

2025年3月18日

日本大学短期大学部（船橋校舎）

令和6年度 短期大学部（船橋校舎）における教育活動に関する外部評価実施要項

短期大学部（船橋校舎）内部質保証推進委員会

短期大学部（船橋校舎）自己点検・評価委員会

1 目的

卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）、入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）の3つのポリシー及びこれらに対する取り組みの適切性・妥当性等に対する外部評価を定期的に行い、短期大学部（船橋校舎）における教育活動のPDCAサイクルを確立し、教育の質保証及び向上に資することを目的として行う。

2 評価項目・評価事項

① 教育・学習（ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー）

- (1) 達成すべき学習成果を明確にし、教育・学習の基本的な在り方を示しているか。
- (2) 学習成果の達成につながるよう各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。
- (3) 課程修了時に求められる学習成果の達成のために適切な授業形態、方法をとっているか。また、学生が学習を意欲的かつ効果的に進めるための指導や支援を十分に行っているか。
- (4) 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。
- (5) 卒業の認定に関する方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。
- (6) 教育課程及びその内容、教育方法について定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいるか。

② 学生の受け入れ（アドミッション・ポリシー）

- (1) 入学者の受入れに関する方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公平、公正に実施しているか。
- (2) 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。
- (3) 学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいるか。

※評価項目・評価事項は、公益財団法人大学基準協会における評価項目によるものとする。

3 評価方法

- ① 評価者による外部評価は、本部大学評価室からの依頼に基づき作成した令和6年度全学自己点検・評価報告書を基に、短期大学部（船橋校舎）教職員等との面談（協議会の開催）及び書面評価により行う。
- ② 評価者は、外部評価の結果、優れている点や改善を必要とする点等を評価結果としてまとめるとともに、外部評価項目の取組評価を4段階で評価する。

(A：十分できている，B：おおむねできている，C：一部改善が必要，D：できていない)

4 外部評価者

西野 孝之介 (にしの こうのすけ)

株式会社SPACE-CREW 代表者，日本大学理工学部建築学科卒業生

5 実施スケジュール

① 令和7年1月下旬 書面評価

自己点検・評価報告書を作成後，外部評価者へ書類送付により評価を依頼する。

② 令和7年2月中旬～下旬 協議会開催 (対面にて実施予定)

概要・現況説明 (前回指摘を受けた事項についての改善進捗状況含む) を行う。

6 協議会開催日時・場所・出席者

① 日時 令和7年2月15日 (土) 午前11時

② 場所 日本大学理工学部船橋校舎

③ 出席者

(1) 外部評価者

(2) 短期大学部 (船橋校舎) 次長

(3) 短期大学部 (船橋校舎) 自己点検・評価委員長

(4) 短期大学部 (船橋校舎) 学務委員長

(5) 短期大学部 (船橋校舎) 入学試験実行委員長

(6) 学科長・主任

(7) (船) 庶務課長

(8) (船) 教務課長

(9) 自己点検・評価委員長が必要と認める者

7 評価結果

① 令和7年2月下旬～3月初旬までに，外部評価者から評価結果を提出してもらう。

② 令和7年3月初旬，評価結果を短期大学部 (船橋校舎) 内部質保証推進委員会及び同自己点検・評価委員会において報告を行い，評価結果を踏まえて，次年度以降の教育の質改善に向けた対応を行う。

③ 令和7年3月末，短期大学部 (船橋校舎) ホームページにおいて外部評価の結果を公表する。

8 所管課

(船) 庶務課

以 上

令和6年度 短期大学部（船橋校舎）における教育活動に関する外部評価
評価票

■教育・学習

	点検・評価項目	ABCD 評価(※)
①	達成すべき学習成果を明確にし、教育・学習の基本的な在り方を示しているか。	B
②	学習成果の達成につながるよう各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	B
③	課程修了時に求められる学習成果の達成のために適切な授業形態、方法をとっているか。また、学生が学習を意欲的かつ効果的に進めるための指導や支援を十分に行っているか。	B
④	成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	A
⑤	卒業の認定に関する方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	A
⑥	教育課程及びその内容、教育方法について定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいるか。	B

※ A：十分できている，B：概ねできている，C：一部改善が必要，D：できていない

⑦評価できる点（伸長すべき点，取組が効果を上げている事項など）
教育や学習環境について十分に体系的に構成、整備されていることが確認できた。また、全学で行なわれている学修アンケートによれば、他学部と比べても学生の学習意欲や満足度が高水準であるということは短期大学部の教育学習活動への取り組みが一定の効果を上げている証左と言える。

⑧問題点・今後の課題（改善すべき点，強化が望まれる事項など）
広く社会に求められる人材育成のためには、より一層に学外の評価を広く取り入れることが必要だと思われる。自己評価の判断材料を大学や学生の短期大学部内部に求めず、学外の評価を広く収集分析してどのような人材を育成すべきかを議論を深め、理工系唯一の短期大学という特色を生かしたカリキュラムや教育環境の整備を期待します。

⑨報告書の記載内容に対する評価，コメント		ABCD 評価(※)
(1) 点検・評価項目ごとに現状を記載しているか。その内容は具体的か。		A
(2) 記述内容は適格かつ簡潔に記載されているか。冗長な文章となっていないか。		A
(3) 誤字や脱字，わかりにくい表現はないか。		A
コメント	⑧に対応するため下記のような点検評価項目があってもよいのかもしれませんが。 ・ 大学設備の充実 ・ 教授、講師陣の充実 ・ 学生の就職、進学目標の設定とその達成度	

※ A：十分できている，B：概ねできている，C：一部改善が必要，D：できていない

外部評価者氏名 西野 考之介

令和6年度 短期大学部（船橋校舎）における教育活動に関する外部評価
評価票

■学生の受け入れ

	点検・評価項目	ABCD評価(※)
①	入学者の受け入れに関する方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公平、公正に実施しているか。	B
②	適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	D
③	学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいるか。	D

※ A：十分できている，B：概ねできている，C：一部改善が必要，D：できていない

④評価できる点（伸ばすべき点，取組が効果を上げている事項など）
学生の受け入れ方針や入学者選抜制度について適切に公表され、また、志願者の経済的な問題や身体的な問題に対して公平性を保てるような取り組みも実施して大学の社会的な責任を果たしているといえる。

⑤問題点・今後の課題（改善すべき点，強化が望まれる事項など）
<p>いうまでもなく定員の充足率は改善が必要です。少子化などの社会的な情勢を考慮すると急いで即効性のある対策を検討し、これを実施する必要があると思われます。例えば、令和8年度入試から対外的なアピールをしたとしてもその成果はすぐに出るものではなく、直ちに教育課程や学生募集の具体的な改革への着手が望まれます。</p> <p>既に実施予定の入学者選抜の変更以外にも、例えば卒業生の就職先等へのヒアリングを行うなどして社会的なニーズを反映した教育課程の変更及び養成する人材について見直しをするとともに、大学が気づいていない魅力、例えば一級建築士取得の最短ルートを辿る教育課程などを確認して受験生や在学生に対して示すなどしてもよいようと思われます。また、建築業界はどの分野も人材確保の難しさが認識されて久しい状況です。少しでも条件のよい就職先を大学側で斡旋募集するなどしてウィンウィンの関係を築くなどすることも有効かもしれません。</p>

	⑥報告書の記載内容に対する評価，コメント	ABCD評価(※)
	(1)点検・評価項目ごとに現状を記載しているか。その内容は具体的か。	A
	(2)記述内容は適格かつ簡潔に記載されているか。冗長な文章となっていないか。	A
	(3)誤字や脱字，わかりにくい表現はないか。	A
コメント	分かりやすく端的にまとめられています。ただし定員の充足率については危機感が足りないのではないかと考えられます。	

※ A：十分できている，B：概ねできている，C：一部改善が必要，D：できていない

外部評価者氏名 西野孝之介